

○高等植物分布資料 (132) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (132)

○エダウチチヂミザサ *Oplismenus compositus* (L.) Beauv. これはチヂミザサと異なって冷温帯には見られず、暖温帯から熱帯に生じ、日本では伊豆諸島、小笠原諸島と九州以南に分布することが知られている。このほど高知県室戸岬にあることがわかったが、ここでは海岸ぞいの道路ぶちのほか、ウバメガシ、タブノキ、アコウなどの林にも、ごく普通に生えている。チヂミザサもあるがそれよりもずっと多く、今まで気付かれなかったのが不思議に思われる。この岬も昔とはようすが変わって、かつて見られなかった帰化植物なども増えてきてはいるが、エダウチチヂミザサが以前になかったとは考えられない。四国の南部では、まだほかのところにもあるかもしれない。葉は大きいもので長さ 6 cm、幅 1 cm ぐらい、裏面には短毛が多い。花序の最下の枝は 4 cm ほどになっている。図は、牧野新日本植物図鑑にも出ているが、写真を見ることはほとんどないので、この機会に室戸岬での生育状態を紹介しておく。

(高知市 [REDACTED] 山中二男 Tsugiwo YAMANAKA)



図 1. エダウチチヂミザサ *Oplismenus compositus* (L.) Beauv. 高知県室戸岬.